

令和七年

新年のごあいさつ



高森町長
草村 大成

謹んで新年の祝詞を申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから行政に対するご理解とご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

昨年、世界的に日本を取り巻く環境が大きく変化した年であり、経済の分野では賃金の上昇や日経平均株価がバブル期の最高値を更新するなど大きな変化を迎えました。

一方家計では、電気・ガスをはじめとする物価高騰が続く、特に地方においては「賃金と物価の好循環」にむけた様々な課題への対応が急務となる年でもありました。

このような状況の中、本町においては私が就任当初から掲げる「子どもたちに誇れる町づくり」、「全国に誇れる高森町」を確かなものとすべく、これからの時代を担う世代が住みやすく、夢にチャレンジできるよう邁進してまいりました。令和7年はさらなる発展を目指して様々な事業を着実に進めて参ります。

まず、県立高森高校マンガ学科では、本年4月に第3期生を迎え入れ、学科開設後3学年そろった体制となります。あわせて、第1期生にとっては卒業に向けての重要な年となり、1年生から3年生までそれぞれの活躍が大いに期待される年でもあります。日本全国から自分の夢に向かってチャレンジする高校生が集まり、活気ある学校生活を送れるよう、さらにバックアップして参ります。

また、昨年7月には、南阿蘇鉄道の全線復旧から1年となり、新しい高森駅が完成しました。「とにかく広いプラットフォーム」をテーマに、欧州の鉄道風景を想わせる高森駅周辺の絶景は素晴らしいです。実際に昨年12月には国が選定する「ウッドデザイン賞2024」において、全国総数366点の中から最優秀賞に選出されました。建設にあたっては国交付金やふるさと応援寄附金等を活用し、皆様の応援によって完成することができました。今後はこの高森駅を拠点に、観光の強化・地域の賑わい創出のために様々な事業を推進して参ります。

さらに、令和5年度から実施している子ども・子育て世代への支援をさらに推進し、ライフステージに応じた切れ目ない支援を実現・強化しました。

高森町の子育て支援策はメニューの多さもさることながら、各事業におよそ10年分のお金を貯金に積み立てて確保しました。これにより次世代に負担を残さず、継続可能な子育て支援を実現させました。これは就任当初から掲げる「子育てで住みたくなる高森町」と「稼げる高森町づくり」に一貫して取り組んできた結果であると自負しております。

さて、令和7年1月1日は、平成23年に私が当選証書の交付を受けた日からちょうど5000日の節目となります。これまでを振り返ってみますと、「新しい高森町への挑戦」から始まり、九州北部豪雨災害や熊本地震からの創造的復興、新型コロナウイルス感染症対策など、様々な課題に対して「スピードは最大の付加価値を生む」を信念に、全身全霊でチャレンジしてまいりました。これまで応援してくださった町民の皆様、関係者の皆様に改めて感謝申し上げますとともに、「全国に誇れる高森町」実現のためさらに邁進して参ります。

町民の皆さまにおかれましては、引き続き健康管理に気を付けていただき、令和7年が健康で明るい一年となりますことを祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



高森町議会議長
牛嶋 津世志

新年明けましておめでとうございます

高森町議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日頃より町議会活動に対する格段のご理解とご協力を賜り、議員一同、厚くお礼申し上げます。

さて、一年を振り返りますと、元日に令和6年能登半島地震が発生し、多くの方が被災され今も復興・復旧にご尽力されているところがございます。高森町も熊本地震を経験いたしました。被災地の一日も早い復興・復旧をお祈り申し上げます。

全国的にも自然災害といえるほどの猛暑が連日続き、とても暑い一年となり、皆さまにおかれましても大変なご苦労をされたことと思います。

7月には高森駅交流施設が完成、南阿蘇鉄道再開1周年と合わせた式典やイベントが催され多くの方が来場されお祝いをいたしました。オープン後は多くの観光客の方が連日訪れ賑わいを見せており、この賑わいが継続し波及していくよう執行部と議会で検討していこうと思

ます。

高森町全体を見渡すと、まだまだ課題や問題点、解決すべきことも多数あるかと思えます。高森町議会としては、様々な課題・問題の解決に向け、執行部と議会がしっかりと議論を重ね、町民の皆さまの声を一つでも多く町政に反映させるため、議員一丸となり町民の皆さまの期待に応えられる町議会であるよう全力を尽くしてまいります。

今年、巳年です。高森町が巳のようにしなやかで柔軟に、そして力強く前進する年にしていきたく願っております。皆さまにとって幸多い年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

高森町議会

副議長 本 田 生 一

佐 伯 金 也

後 藤 三 治

後 藤 巖

甲 斐 節 男

佐 藤 武 文

児 玉 幸之助

武 田 栄 喜

白 石 豊 和